

横林地区防災計画

～住民の命を守り、地域づくりや事前復興につなげる～

令和6年2月

目次

1. 横林地区防災計画の位置づけ	1
(1) 計画作成の目的.....	1
(2) 計画策定の背景.....	2
2. 想定される災害を知る	3
(1) 土砂災害の種類.....	3
(2) 土砂災害（特別）警戒区域.....	3
(3) 土砂災害警戒情報などの気象情報・防災情報	4
3. 災害からの避難への備え ～住民全員が確実に避難するために～	5
(1) 安全な避難場所等への避難	5
(2) 地域コミュニティの強みを活かした速やかな安否確認.....	6
(3) 長期の避難生活への備え.....	8
(4) 防災訓練の継続実施.....	12
(5) 暮らしと防災の取組 ～人口減少を踏まえた人づくり、地域づくり～	12
4. みんなで作った地域ごとの防災マップ	13
5. 私・地域が取り組む横林の防災まちづくり	25

1. 横林地区防災計画の位置づけ

(1) 計画作成の目的

横林地区は、西予市東部の旧野村町内にあり、10の集落（奈良野、大成、堂野窪、松尾、河成、大領地、坂石、高丸、長谷、汗嵐）から構成される人口335人（令和5年10月末現在）の中山間地域です。山々に囲まれ、ジオの台地が育んだ河岸段丘に集落が形成されています。

点在する集落等は、土砂災害の危険性が高い区域に囲まれ、大雨や南海トラフ巨大地震による揺れ等の際には、地域の様々な場所で土砂災害が発生する懸念があります。また、集落間の道路等も被災する可能性があり、地域が孤立するおそれもあります。

そのため、地域住民一人ひとりの防災意識を高め、住民が主体となって、災害から命を守ることを考え、実践していくために、「横林地区防災計画」を作成するものです。

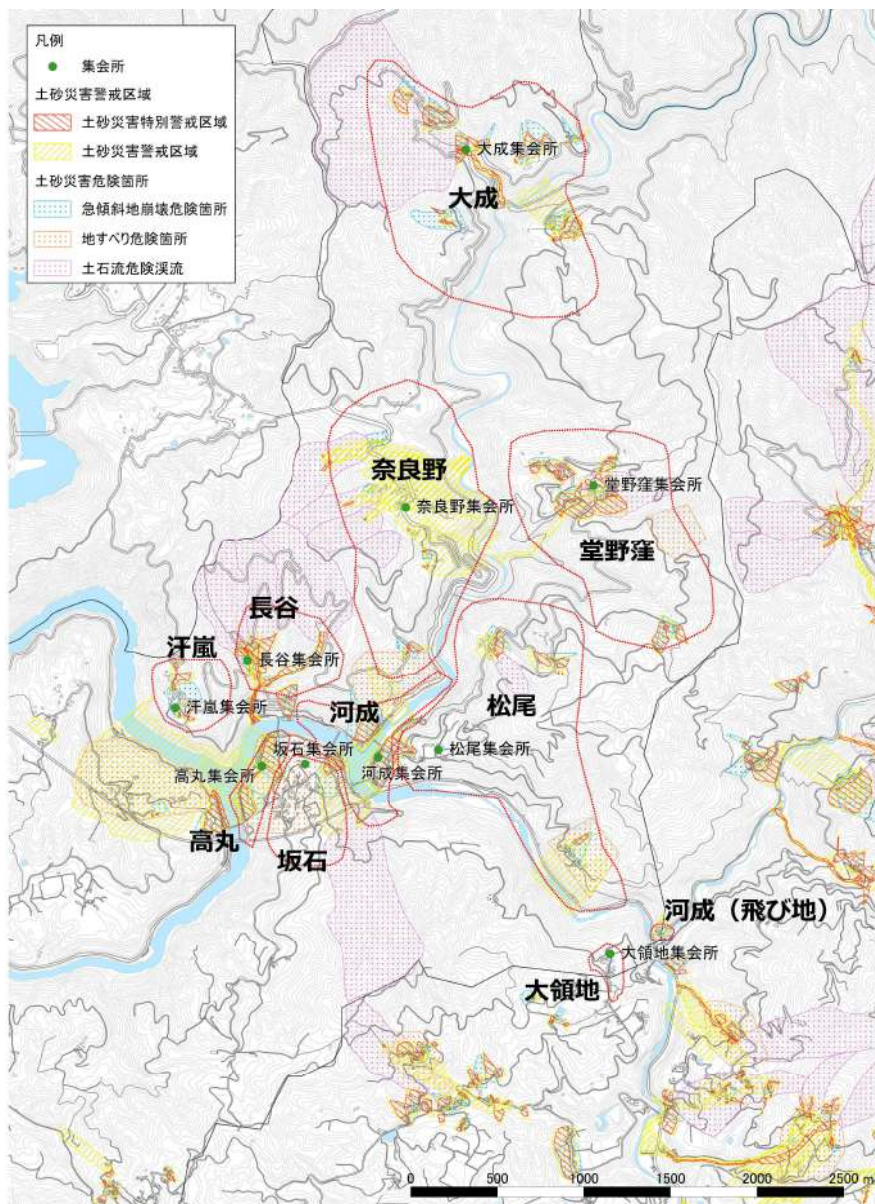


図 横林地区の土砂災害の危険がある区域

(2) 計画策定の背景

横林地区は、愛媛大学による逃げ遅れゼロアプリを活用した要支援者対策を含めた防災訓練の実施など、住民が主体となった防災活動の取組が始まっています。

これらの取組を踏まえながら、「安全で住み続けられるまち」の実現に向け、「防災」と「地域づくり」の視点による横林地域づくりワークショップ（以下、「地域づくりWS」と言う。）を開催し、住民と大学、市が協働して、本計画の策定に取組みました。

なお、地域づくりWSは、

- ①住民の命を守るための地区防災計画の作成
- ②地域づくりや事前復興につなげる

の2つの目標を掲げ、令和5年度には、以下のようなテーマで開催し、本計画をとりまとめました。

なお、地域づくりWSは、防災だけでなく、地域づくりにつながる取組として、今後も継続していくものです。

表 地域づくりWSの開催状況

	開催毎のテーマ
第1回WS R5.9.6（水）	【テーマ】避難訓練を振り返り、避難等における課題を確認する ・避難訓練の振り返り ・課題を踏まえ必要な対策を考える
第2回WS R5.10.11（水）	【テーマ】災害への備えを話し合う ・地域の災害リスクを確認する ・第1回WSの結果を踏まえ、日頃から実施できる取組を考える
第3回WS R5.11.8（水）	【テーマ】安全な避難の実現に向け、各地域の防災マップを作ろう ・第2回WSの結果を踏まえ、各地域の防災マップを作ろう
第4回WS R5.12.19（火）	【テーマ】地区防災計画をとりまとめ、自分・地域が取組むことを宣言する ・地域の防災力を高めるための取組を確認する ・重点的に取組むことを宣言する



図 地域づくりWSの開催状況

2. 想定される災害を知る

(1) 土砂災害の種類

土砂災害には「がけ崩れ」と「土石流」、「地すべり」があり、多くが大雨により発生するものですが、地震の揺れによって引き起こされる場合もあります。

土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が現れることがあります。下図に示す前兆現象に気づいたら、周囲の人と声をかけ合い、いち早く安全な場所に避難することが大切です。



図 土砂災害の種類 (西予市総合防災マップより抜粋)

(2) 土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害から住民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域として、土砂災害(特別)警戒区域が指定されています。

横林地区には、数多くの土砂災害(特別)警戒区域が指定されており、災害情報の確実な伝達のもと、速やかな避難を行うことが重要です。

土砂災害警戒区域
(通称：イエローゾーン)
土砂災害のおそれがあり、発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域のこと

土砂災害特別警戒区域
(通称：レッドゾーン)
土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域のこと

図 土砂災害(特別)警戒区域

(3) 土砂災害警戒情報などの気象情報・防災情報

大雨が降りだしたら、又は、降り始めるなどの情報を聞いた際には、気象情報や防災情報に注意が必要です。

特に、「土砂災害警戒情報」は、大雨による土砂災害の危険度が高まったときに、市長が避難指示を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、愛媛県と気象庁が共同で発表する防災情報です。土砂災害警戒情報は、警戒レベル4相当で、市が避難指示を発令する目安であり、災害の切迫度が高まっている状況です。

警戒レベル	防災気象情報		市が発令する避難情報等	住民の取るべき行動
	キキクル			
5	大雨特別警報	災害切迫	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに災害が発生し、命が危険な状況です。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動するなど、命を守る最善の行動を取ってください。
警戒レベル4までに必ず避難!				
4	土砂災害警戒情報	危険	避難指示	危険な場所から全員避難 ・危険な場所から、全員が避難してください。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておくことが重要です。
3	大雨警報 洪水警報	警戒	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者や障がい者など避難に時間を要する方やその支援者は、危険な場所から避難してください。 ・高齢者等以外の人、必要に応じ、避難の準備をしたり、自主的に避難してください。
2	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報 大雨注意報 洪水注意報	注意		自らの避難行動を確認 ・避難に備えて、ハザードマップ等によりご自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認してください。
1	早期注意情報 (警報の可能性)			災害への心構えを高める ・気象情報などの最新情報に注意し、災害への心構えを高めてください。

図 防災気象情報等に応じた住民の行動

堂野窪をモデル地域としたマイ・タイムラインの検討

適切な避難のタイミングの検討に向け、堂野窪をモデル地域としたマイ・タイムライン（わが家の避難行動予定）の検討を進めています。

マイ・タイムラインとは、台風や豪雨がもたらす災害の多くは、気象情報が先行することから、気象情報・避難情報に応じて、わが家では誰が何をどうすべきか、時系列に応じた行動を決めておくものです。

堂野窪での検討結果を踏まえて、横林地区への展開や本地区防災計画の見直しを行っていきます。

3. 災害からの避難への備え ～住民全員が確実に避難するために～

(1) 安全な避難場所等への避難

横林地区は、住まいの周辺に土砂災害（特別）警戒区域等が広がるとともに、集落間を結ぶ道路も土砂の崩落等が懸念され、避難場所として活用が可能な建物等が限られている状況にあります。また、市の指定避難所である、「横林地域づくり活動センター」と「河成地区体育館」も、がけ崩れや地すべり災害に対して危険性を有しています。

そのような状況を踏まえながら、地域づくりWSにおいては、下図のような避難場所があげられています。気象情報や土砂災害の前兆現象なども踏まえながら、より早く、より安全な場所への避難を行うこととします。

なお、地域づくりWSであげられた避難場所の候補地の中には、広場などもあり、市の補助事業を活用し簡易な屋根の整備等を検討します。

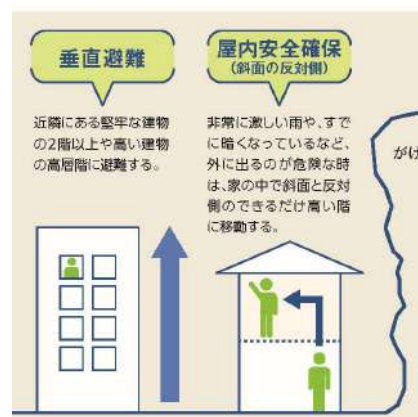


図 各集落の避難場所の候補



垂直避難と屋内安全確保

土砂災害からの避難は、「水平避難」として、避難場所などの安全な場所への避難が基本ですが、非常に激しい雨やすでに暗くなっているなどにより外に出るのが危険な時は、近隣にある堅牢な建物の2階以上に避難する「垂直避難」、家の中で斜面と反対側のできるだけ高い階に移動する「屋内安全確保」を意識しましょう。



(2) 地域コミュニティの強みを活かした速やかな安否確認

① 安否確認等に活用可能な名簿や避難行動要支援者の個別避難計画の作成

速やか、かつ、確実な地域住民の安否確認や避難場所への避難者数の把握に向け、各地域での事前の名簿の作成に取り組めます。また、地域住民の名簿作成とあわせて、避難行動要支援者の個別避難計画の作成に取り組めます。

なお、名簿は、個人情報となることから、下記の様式を参考に、地域ごとに住民の合意を得ながら、必要な情報等の整理を行うこととします。また、避難場所となる施設で保管するなど、各地域で適切な管理・更新を行うものとします。

■ 名簿の記載事項（案）

- 氏名（世帯主（代表者）、家族）
- 住所
- 電話番号 … 避難時においても連絡がとれるように携帯電話等
- 緊急時の連絡先 … 親族などの連絡先及びその関係性
- その他特記事項 … 避難時の支援の必要性やアレルギーの有無等の配慮事項

〇〇地区 避難確認用リスト

安否確認 確認できた ら○	管理 番号	世帯主 の場合○	氏名	住所	電話番号		緊急時の連絡先			特記事項等		
					自宅等	携帯電話等	氏名	続柄	電話番号	避難支援の 必要性	左記の内容・その他（アレルギーや持病等）	



【参考】地域づくりWSでの意見

地域づくりWSでは、避難生活の対策について以下のような意見が出ています。

【管理方法】

- ・避難場所となる施設においておく
- ・区長が持つておく
- ・全員が確認できるようにしておく

【記載内容】

- ・緊急時の連絡先の個人情報は了解がとれない、任意とする
- ・アレルギーや持病も記載する
- ・勤め先や学校、年齢も記載する

②逃げ遅れゼロアプリの活用

横林地区では、愛媛大学が開発した「逃げ遅れゼロアプリ」を活用した、避難支援体制の確立に取り組んでいます。令和5年7月2日（日）に実施した横林地区避難訓練では、実際に、要支援者の避難状況の確認に活用し、その有効性が確認できました。

引き続き、大学と地域、市が連携を図りながら、地域住民全員を対象とした逃げ遅れゼロアプリの活用などの検討に取り組み、地域の安全・安心を高めていきます。

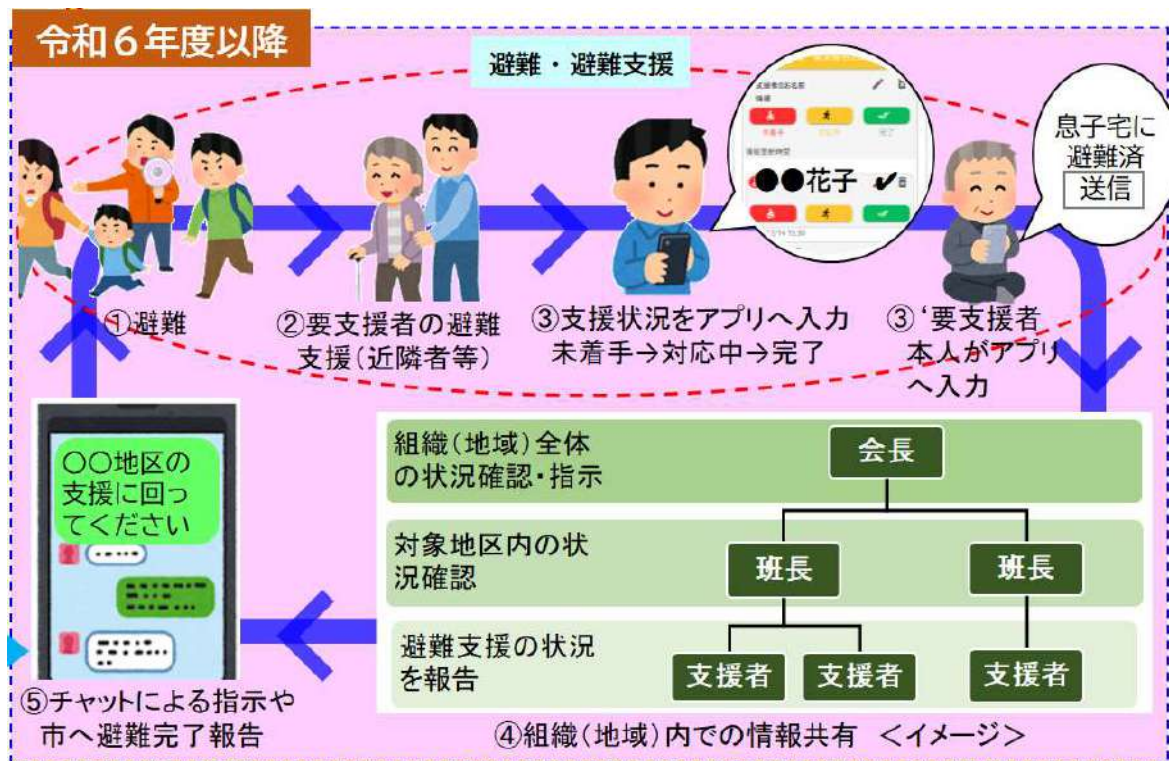


図 逃げ遅れゼロアプリのイメージ

(3) 長期の避難生活への備え

① 避難生活の場（＝避難所）の確保

自宅が被害を受けたり、大規模土砂災害による道路や生活インフラが被害を受け、自宅で生活ができない状況に陥った際には、避難生活が長期化するおそれがあります。

そのような際は、災害種別や各地域の被害状況、被災者の人数、想定される避難生活の期間などに応じて、市や地域で話し合いを行い、指定避難所、若しくは、地域の集会所等での避難生活を行うこととなります。

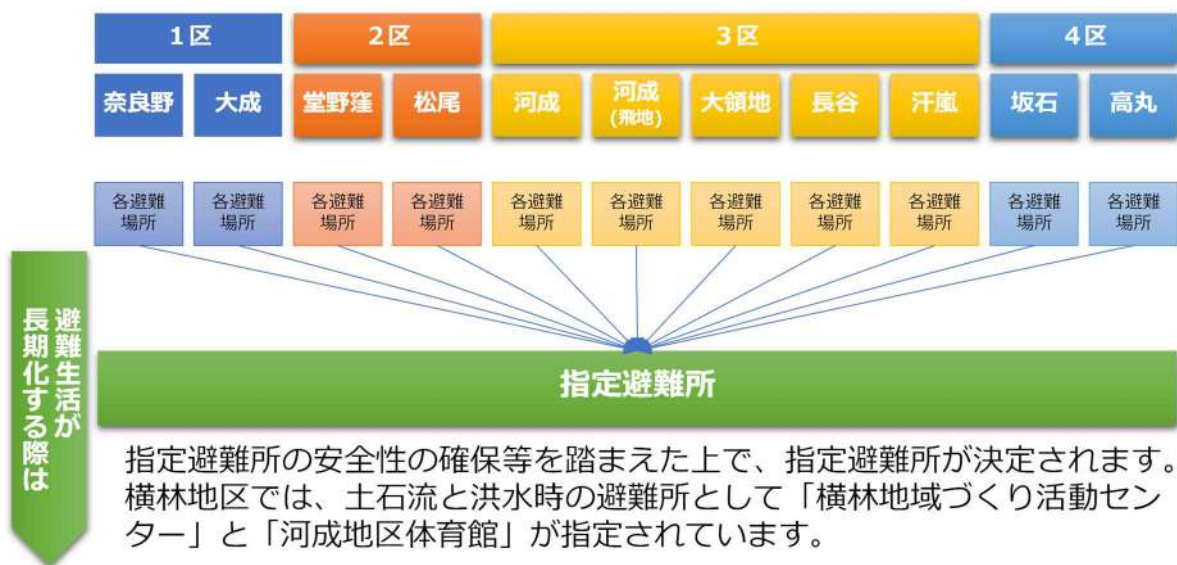


図 指定避難所への集約のイメージ

②避難生活における役割分担

大規模災害が発生した際には、地域住民が主体となった避難所運営が求められます。

避難所運営に当たっては、下表のような役割が求められます。大規模な避難所の場合は、それぞれの体制ごとに主担当を決め、効率的な避難所運営に当たる必要があります。集会所のような小規模な避難所においても、それぞれの体制の役割や対応等が求められることから、適切な役割分担を行うことが必要です。

そのため、防災訓練の機会等を活かし、地域住民の間で役割分担等の話し合いを行い、担当者を想定しておきます。なお、災害が発生した際に、決めていた担当者が不在の場合も考えられることから、その際の対応等についても検討しておきます。

表 避難所運営における役割分担

体制	役割	主な担当者
運営管理責任者	○避難所運営の指揮 ○市担当や施設管理者等との調整	
総務班	○避難所運営全般 ○連絡調整事項の整理	
名簿班	○名簿の作成・管理 ○入退所管理	
食料班	○食料の配給 ○炊き出し、食料の管理	
物資班	○生活物資の配給 ○物資の管理	
救護班	○負傷者への対応 ○要支援者の支援	
衛生班	○衛生環境の管理 ○子どもたちへの対応	
連絡・広報	○避難者の呼び出し ○情報の収集・管理・提供	

【参考】地域づくりWSでの意見

地域づくりWSでは、避難生活の対策について以下のような意見が出ています。

- ・避難所運営のために役割分担を事前に決めておく
- ・避難して集まったメンバーで役割分担を決める
- ・区長や防災部長がリーダーとなる
- ・避難生活におけるプライバシーの確保
- ・けが人が出た際の処置
- ・避難所の環境整備として、冷暖房や防寒対策、トイレ、備蓄等

③備蓄品の充実

中山間地域である横林地区では、大規模な土砂災害等が発生した際には、地域が孤立するおそれがあります。

下図を参考に、各家庭でローリングストック[※]等による日常からの備蓄等を進めるとともに、地域・自主防災組織との連携のもと、防災倉庫や備蓄品の充実等に取り組めます。

※ローリングストックとは

無理なく、無駄なく暮らしの中での備蓄として、普段使っている物を少し多めに備えて、消費したらその分買い足し、常に一定量の物を家に備蓄すること。



図 備蓄品等の一例（西予市総合防災マップより抜粋）

【参考】地域づくりWSでの意見

地域づくりWSでは、備蓄について以下のような意見が出ています。

- ・車で避難生活に備えてガソリンを確保（できるだけ満タン給油）
- ・毛布・布団類の確保
- ・トイレがない避難所での災害時トイレの確保
- ・グラウンドや広場への避難の際に使用可能な防災テントの準備
- ・非常食等を置く場所の確保
- ・地域の強みとして、薪や湧き水の利用が可能
- ・各家庭での非常食の備蓄

自主防災組織における防災資機材の購入等においては、「自主防災組織活動育成補助金」の活用可能です。防災訓練等の機会を通じて、地域で話し合いを行い、必要な防災資機材の購入等に取組みます。

自主防災組織活動育成補助金の概要

西予市では、自主防災組織が行う防災活動や防災整備に対して、予算の範囲内で補助を行います。

■ 対象者

- ・西予市内の各自主防災組織

■ 対象経費

1. 防災拠点整備事業

(ア) 防災テント、防災倉庫の購入費用

- ・購入費用や原材料費（コンクリートなど）

(イ) 一時避難場所や避難路の整備費用

- ・手摺などの部材を購入し整備する費用
- ・表示板、避難標識等を購入し設置する費用
- ・組織の発注する工事の請負費

(ウ) 地元独自で放送施設を整備する費用

- ・放送設備を整備する際の工事請負費、修繕費

(エ) その他防災拠点の整備事業

- ・防災倉庫の修繕費用など

2. 防災活動支援事業

(ア) 防災資機材の購入費用

(イ) 防災訓練、防災学習会の実施費用

参考 URL :

https://www.city.seiyo.ehime.jp/kakuka/soumu/kiki_kanri/moshimonisonaeru/4050.html

(4) 防災訓練の継続実施

横林地区では、令和5年7月2日（日）に、南海トラフ巨大地震の発生を想定した避難訓練を実施し、多くの住民が参加しました。また、第1回地域づくりWSにおいて、防災訓練の振り返りを行った際に、「上手くできたこと、良かったこと」と「上手くできなかったこと、心配なこと」、「今後検討が必要なこと」などを話し合いました。

地域づくりWSの意見なども踏まえつつ、今後も、災害に強い体制づくりに向け、継続した実践的な訓練に取り組めます。



横林地区避難訓練の様子

■ 訓練の項目

- | | | |
|------------------|---------|---------|
| ①住民避難訓練 | ②情報伝達訓練 | ③住民輸送訓練 |
| ④ドローンによる災害状況確認訓練 | | ⑤応急救護訓練 |
| ⑥地震体験車【中止】 | ⑦パネル展示 | ⑧非常食試食 |
| ⑨講評 | ⑩物資配給訓練 | |



避難訓練の実施状況

(5) 暮らしと防災の取組 ～人口減少を踏まえた人づくり、地域づくり～

横林地区は、市内の中でも人口減少・高齢化が進んでいる状況にあり、自助・共助の低下が懸念されます。一方、小規模な集落であるからこそ、地域住民総ぐるみの地域コミュニティが維持・発揮できるという強みを有しています。

日頃のあいさつが避難時の声かけや安否確認に、地域での清掃活動が土砂崩壊等の抑制につながるなど、「日々の暮らしや生業、共同による生活環境の維持等の取組」が、『地域の防災力の向上』につながります。

そのため、住民一人ひとりが、横林地区に住み、誇りや愛着を持って暮らし続けることができるよう、時代に即した仕組みづくり、地域づくりに取り組んでいきます。

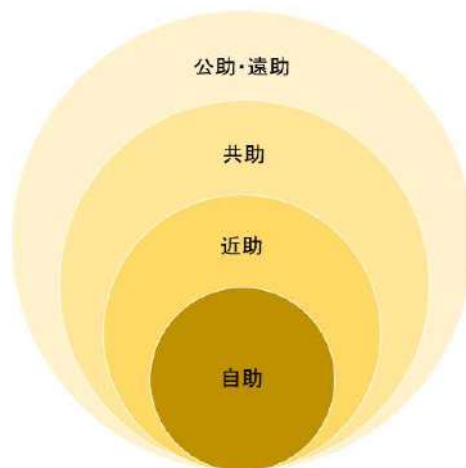


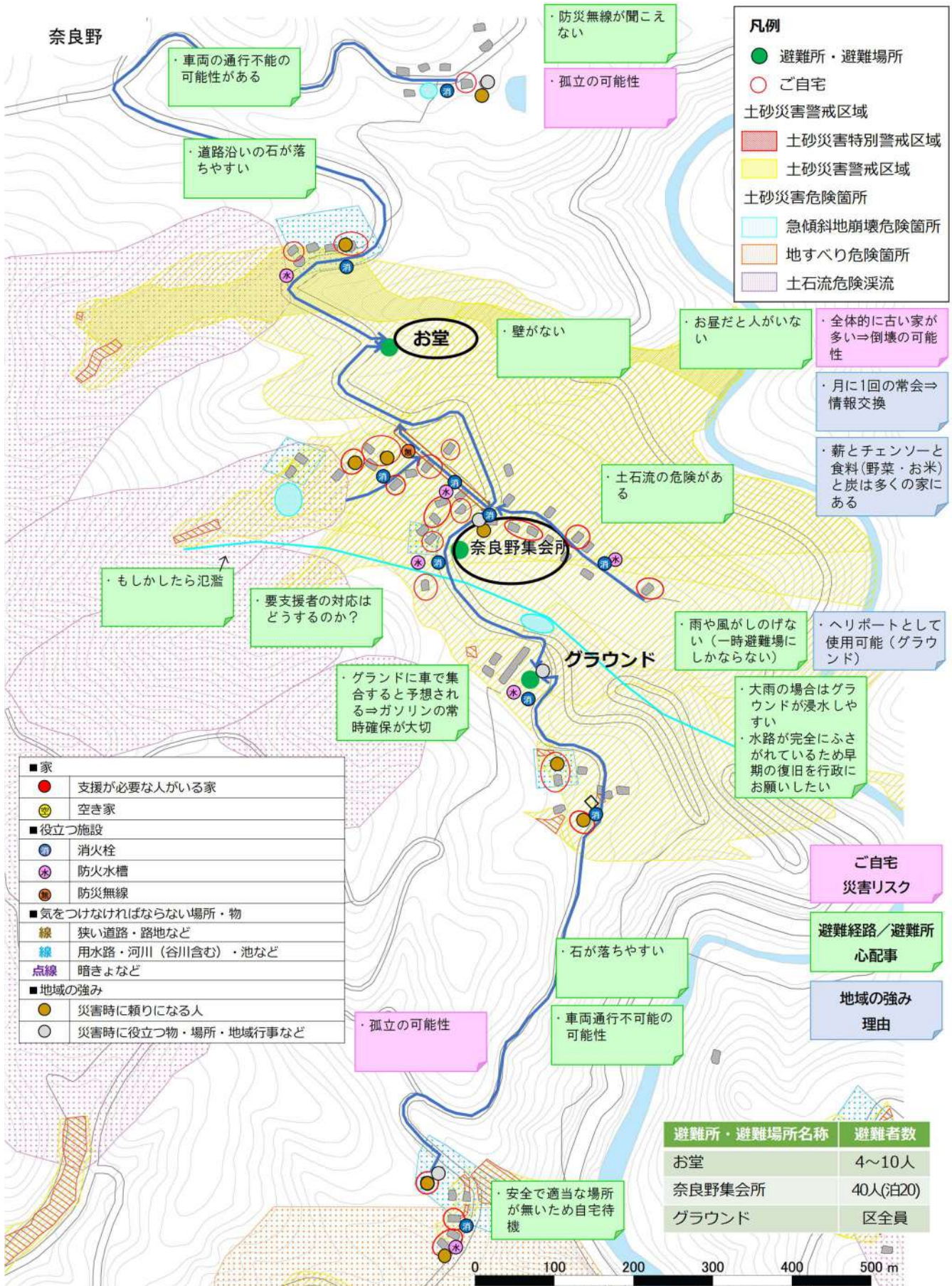
図 仕組みづくり・地域づくりの概念

4. みんなで作った地域ごとの防災マップ

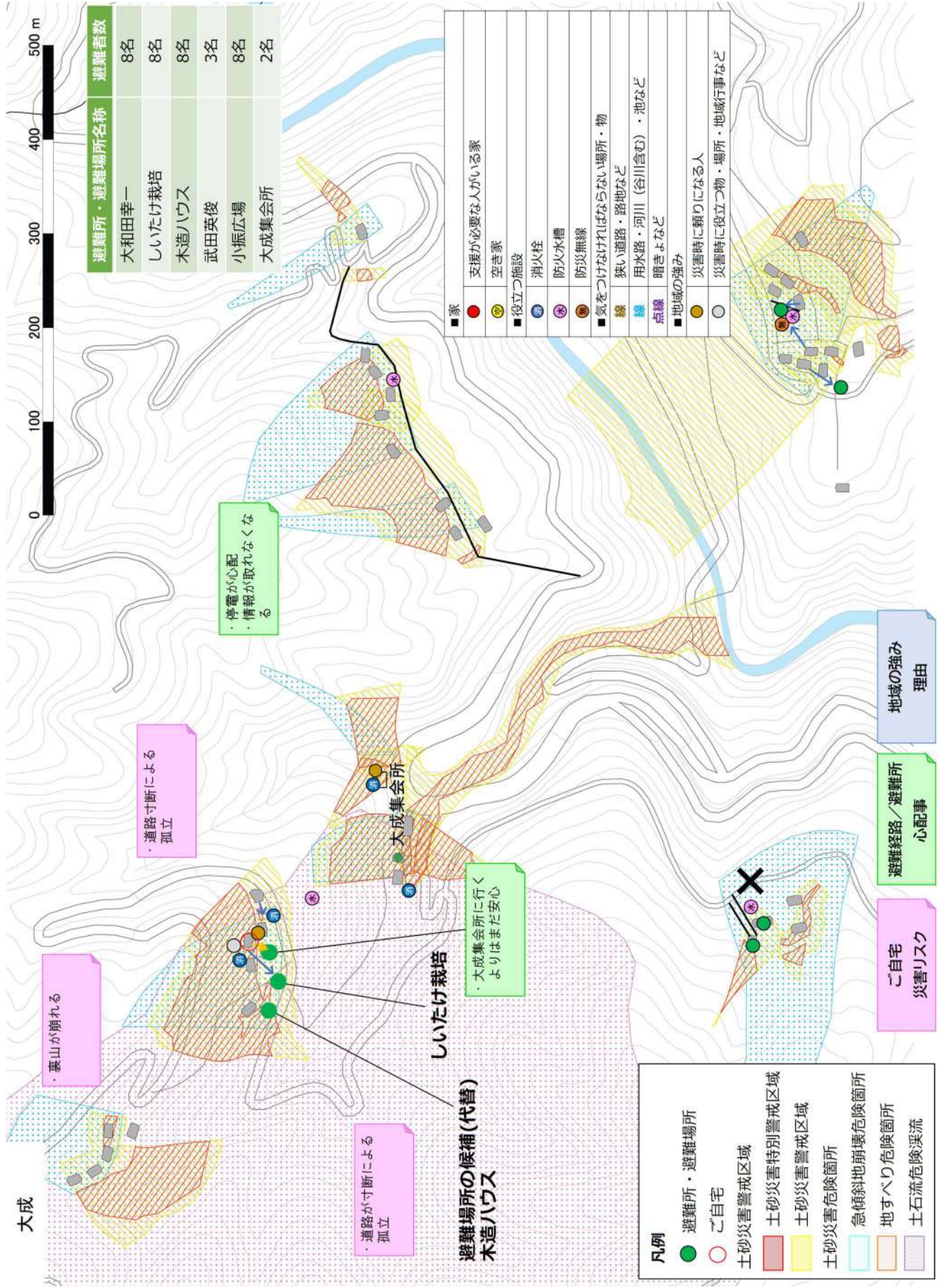
横林地区では、地域づくりWSを通じて、各地域の防災マップを作成しました。この防災マップは、地域住民全員の確実な避難の実現を図るものとして、随時、更新等を図っていくものとします。

なお、本計画に掲載している防災マップは、災害時に頼りになる人や空き家の情報等については削除していますが、各世帯には、全ての情報を掲載した防災マップを配布しています。

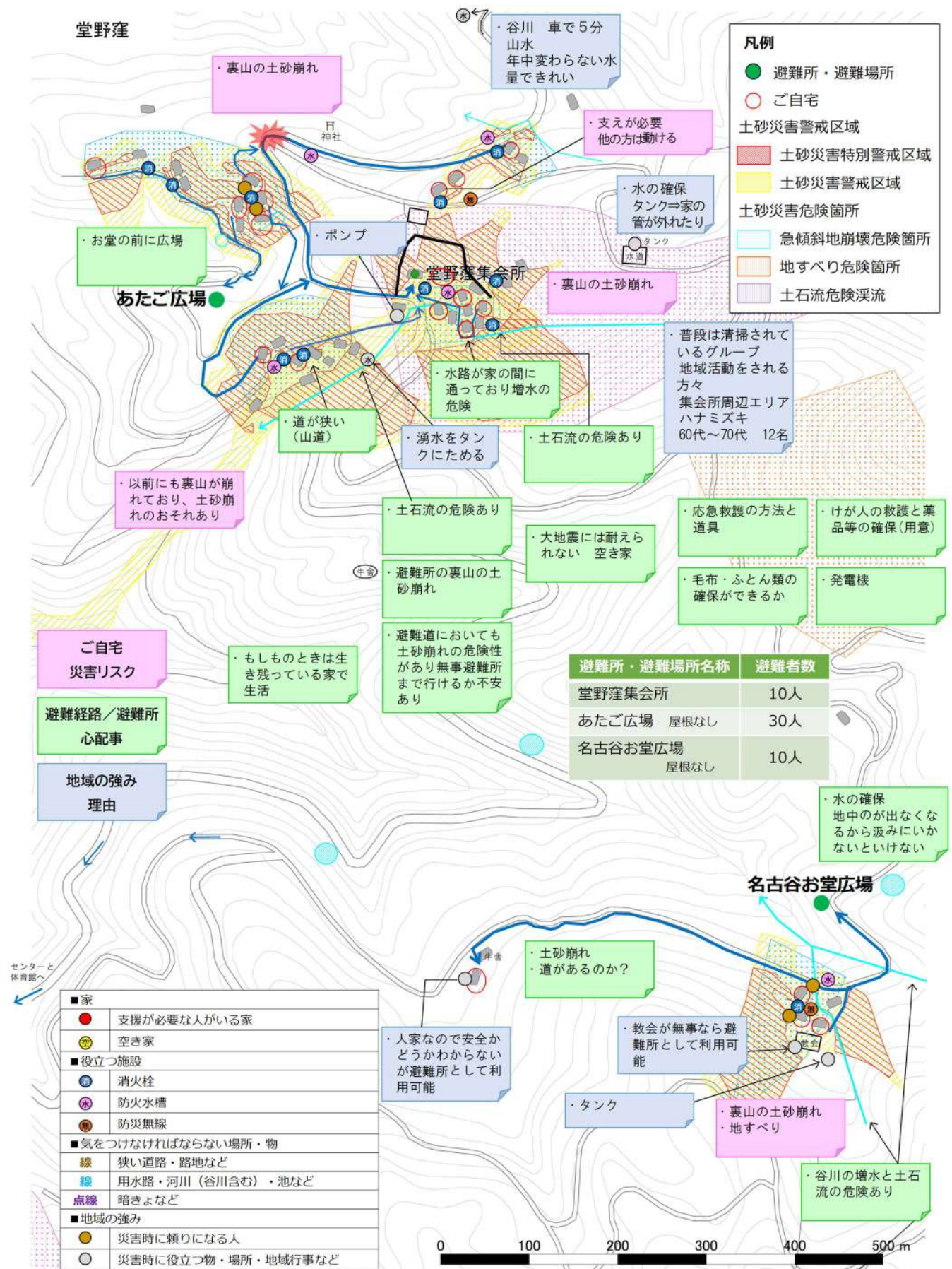
■奈良野



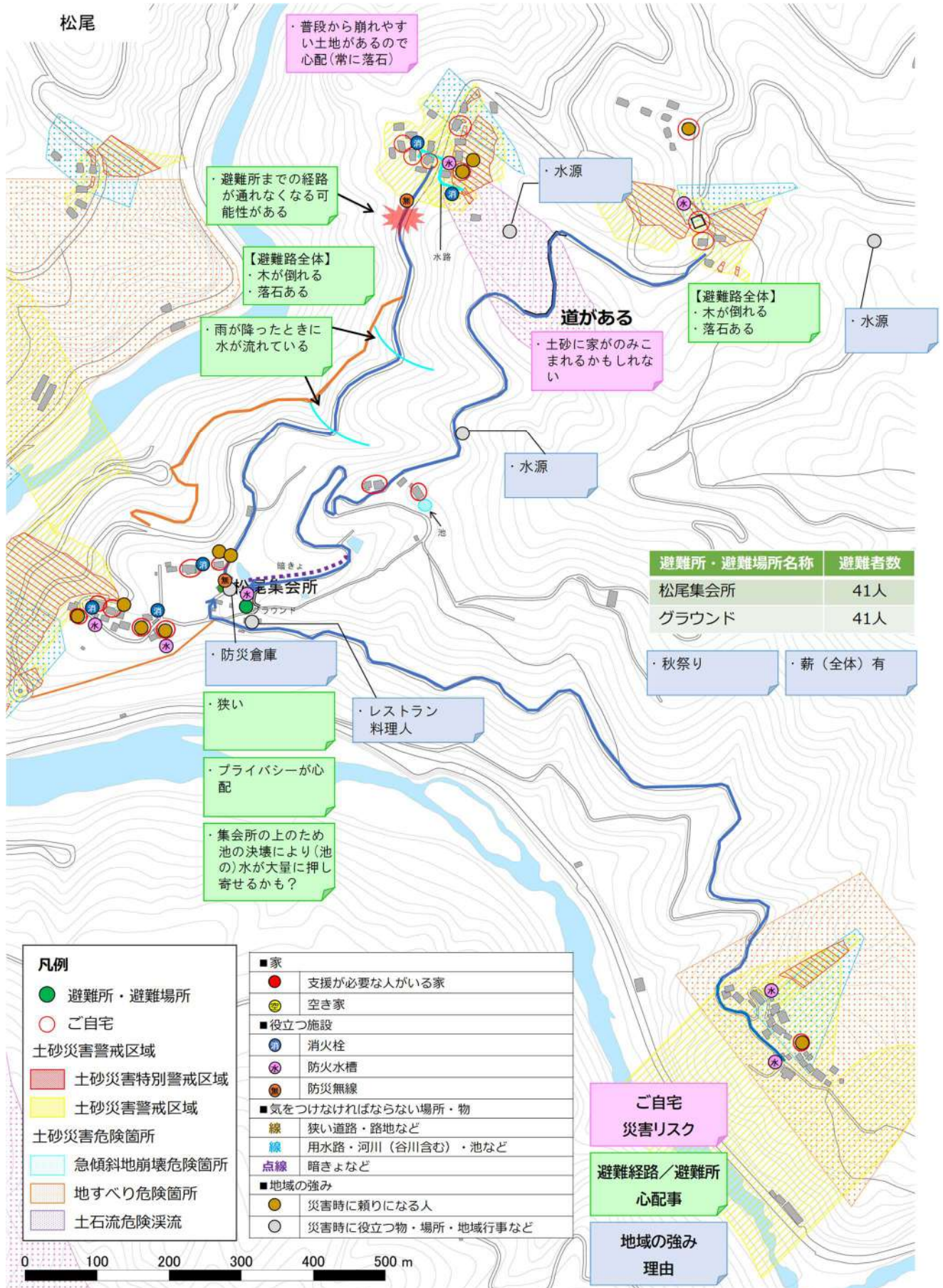
■大成地域



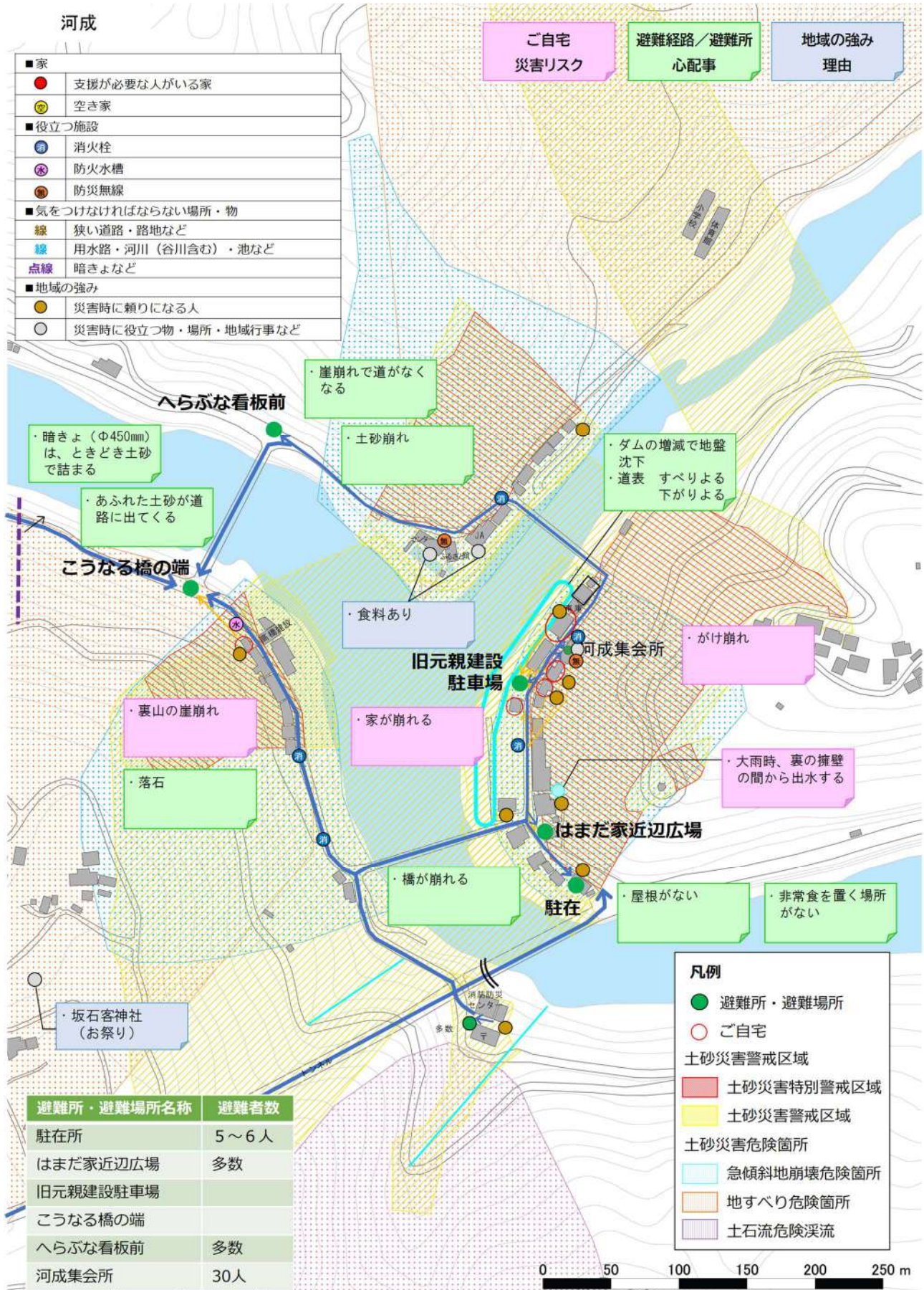
■堂野窪地域



■松尾地域



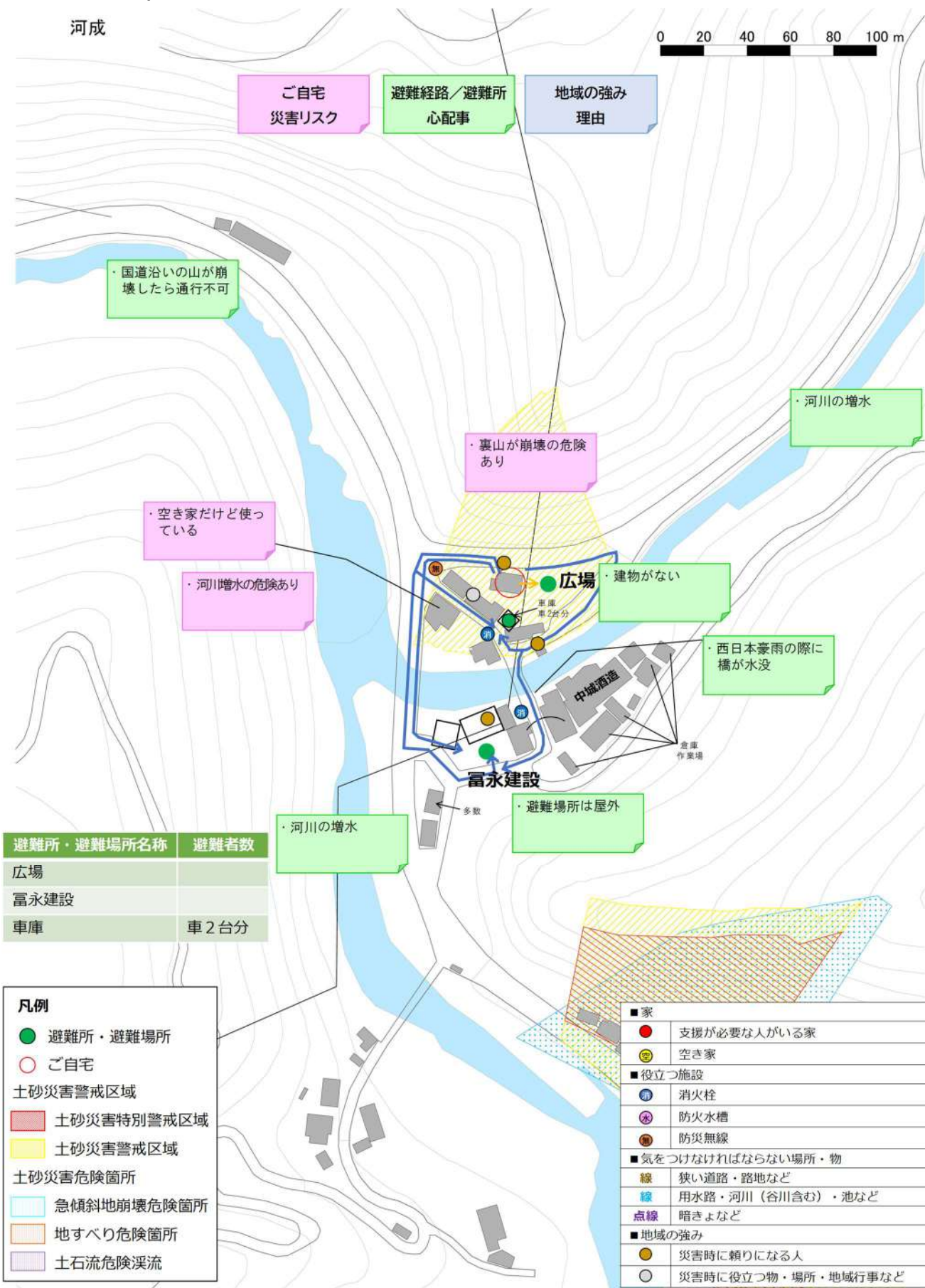
■河成



■河成 (飛び地)

河成

0 20 40 60 80 100 m



避難所・避難場所名称	避難者数
広場	
富永建設	
車庫	車 2台分

凡例	
●	避難所・避難場所
○	ご自宅
土砂災害警戒区域	
■	土砂災害特別警戒区域
■	土砂災害警戒区域
土砂災害危険箇所	
■	急傾斜地崩壊危険箇所
■	地すべり危険箇所
■	土石流危険渓流

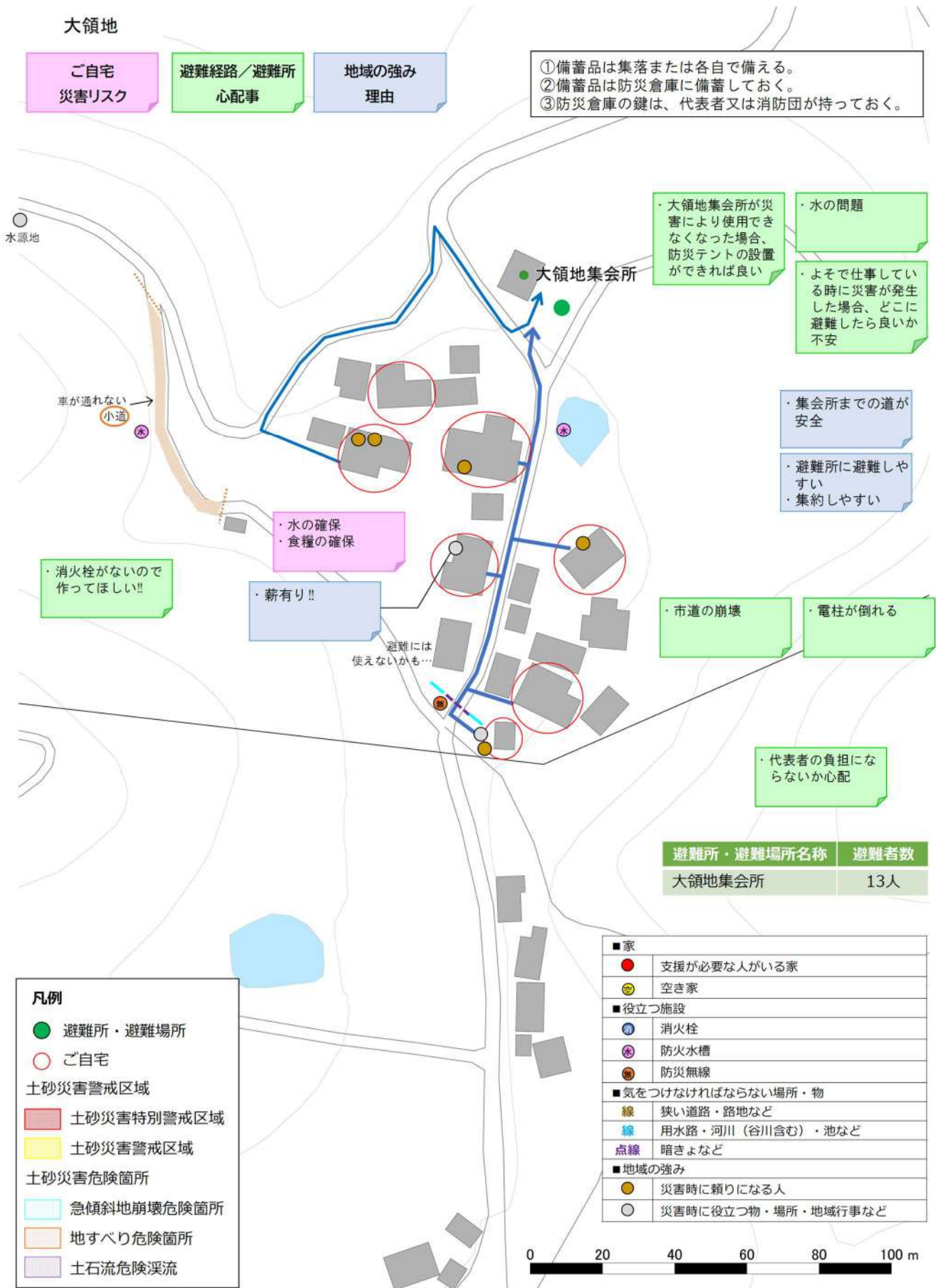
■家	
●	支援が必要な人がいる家
○	空き家
■役立つ施設	
●	消火栓
●	防火水槽
●	防災無線
■気をつけなければならない場所・物	
線	狭い道路・路地など
線	用水路・河川(谷川含む)・池など
点線	暗きよなど
■地域の強み	
●	災害時に頼りになる人
○	災害時に役立つ物・場所・地域行事など

■大領地地域

大領地

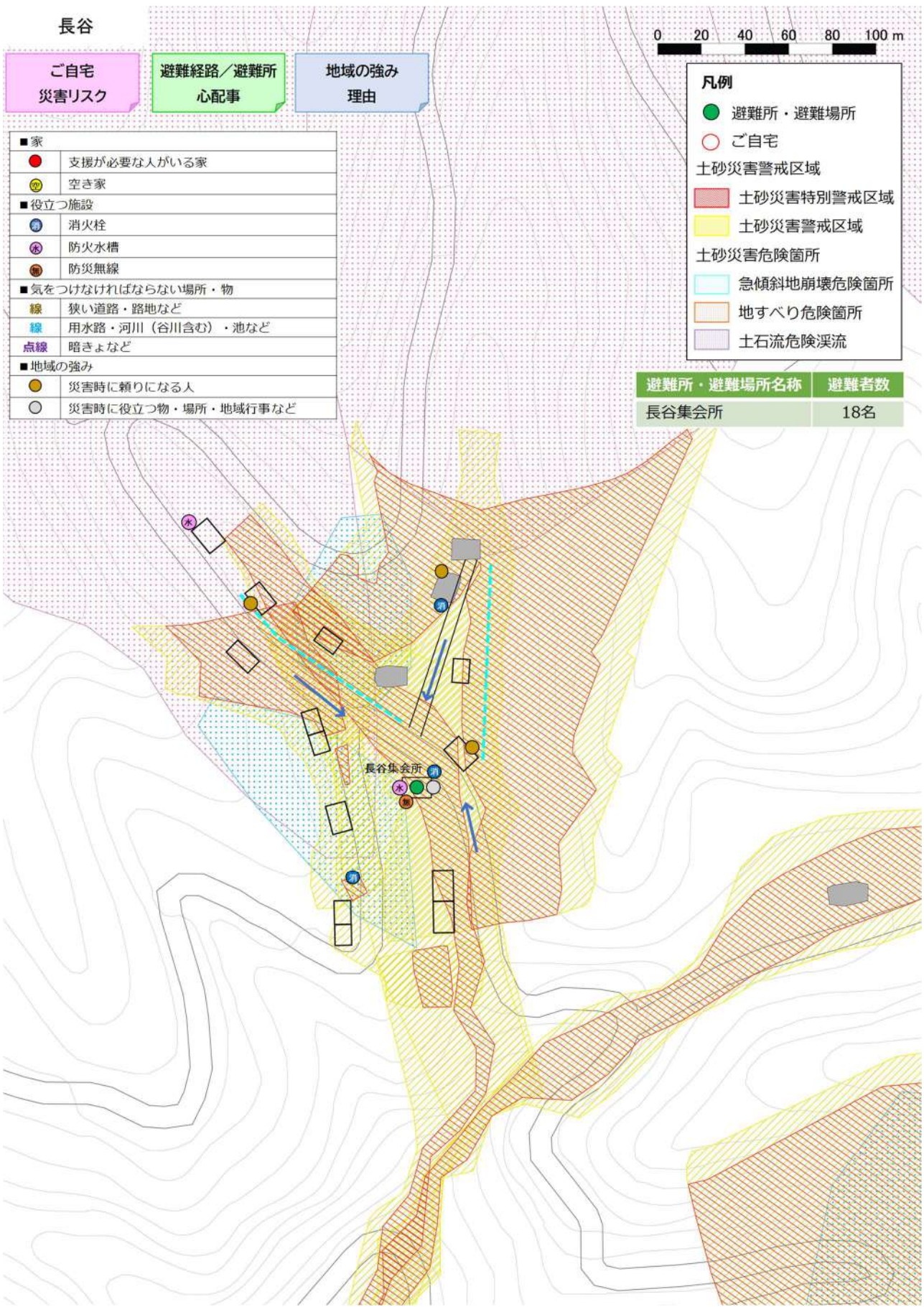
- ご自宅 災害リスク
- 避難経路/避難所 心配事
- 地域の強み 理由

- ①備蓄品は集落または各自で備える。
- ②備蓄品は防災倉庫に備蓄しておく。
- ③防災倉庫の鍵は、代表者又は消防団が持つておく。



■長谷地域

長谷



ご自宅
災害リスク
避難経路/避難所
心配事
地域の強み
理由

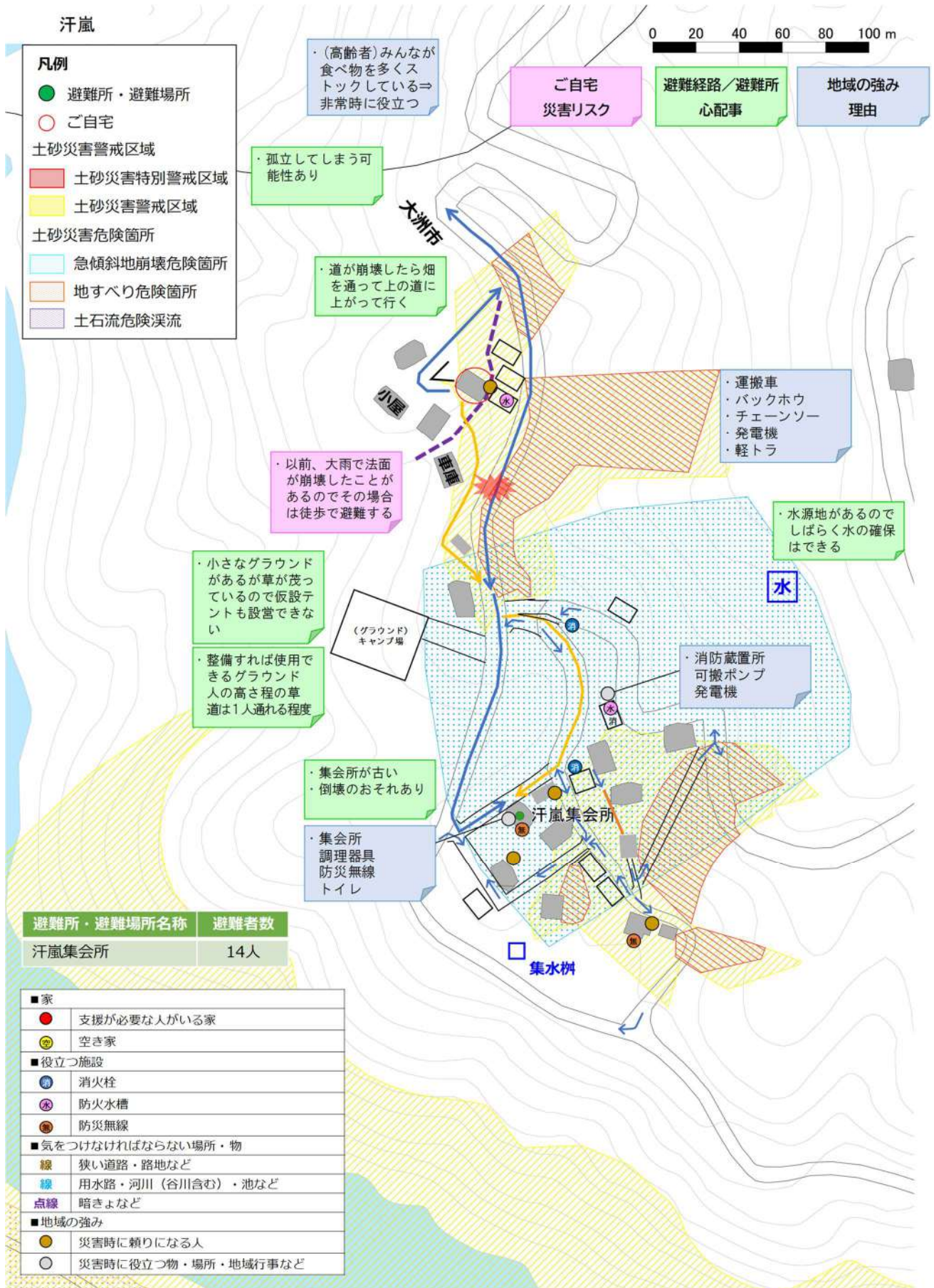
■家	
●	支援が必要な人がいる家
○	空き家
■役立つ施設	
●	消火栓
●	防火水槽
●	防災無線
■気をつけなければならない場所・物	
線	狭い道路・路地など
線	用水路・河川（谷川含む）・池など
点線	陥きよなど
■地域の強み	
●	災害時に頼りになる人
○	災害時に役立つ物・場所・地域行事など

凡例

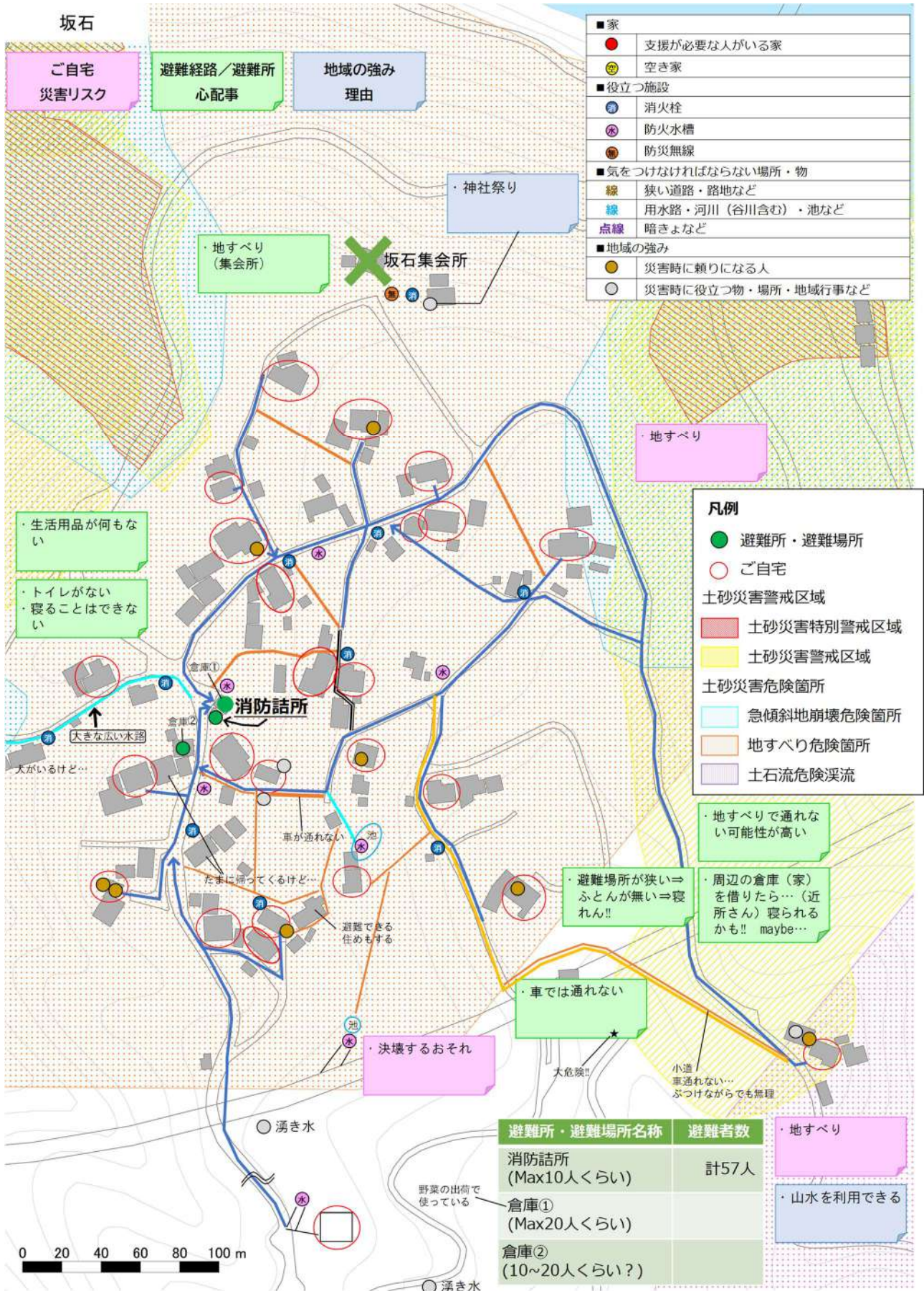
- 避難所・避難場所
- ご自宅
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 土石流危険渓流

避難所・避難場所名称	避難者数
長谷集会所	18名

■汗嵐地域



■坂石地域



ご自宅
災害リスク

避難経路/避難所
心配事

地域の強み
理由

■家	● 支援が必要な人がいる家
○	空き家
■役立つ施設	● 消火栓
●	防火水槽
●	防災無線
■気をつけなければならない場所・物	● 狭い道路・路地など
●	用水路・河川(谷川含む)・池など
●	暗きよなど
■地域の強み	● 災害時に頼りになる人
●	災害時に役立つ物・場所・地域行事など

生活用品が何もない
トイレがない
寝ることはできない

●	避難所・避難場所
○	ご自宅
■	土砂災害警戒区域
■	土砂災害特別警戒区域
■	土砂災害警戒区域
■	土砂災害危険箇所
■	急傾斜地崩壊危険箇所
■	地すべり危険箇所
■	土石流危険渓流

生活用品が何もない
トイレがない
寝ることはできない

地すべりで通れない可能性が高い
避難場所が狭い⇒ふとんが無い⇒寝れん!!
周辺の倉庫(家)を借りたら…(近所さん)寝られるかも!! maybe…

避難所・避難場所名称	避難者数
消防詰所 (Max10人くらい)	計57人
倉庫① (Max20人くらい)	
倉庫② (10~20人くらい?)	

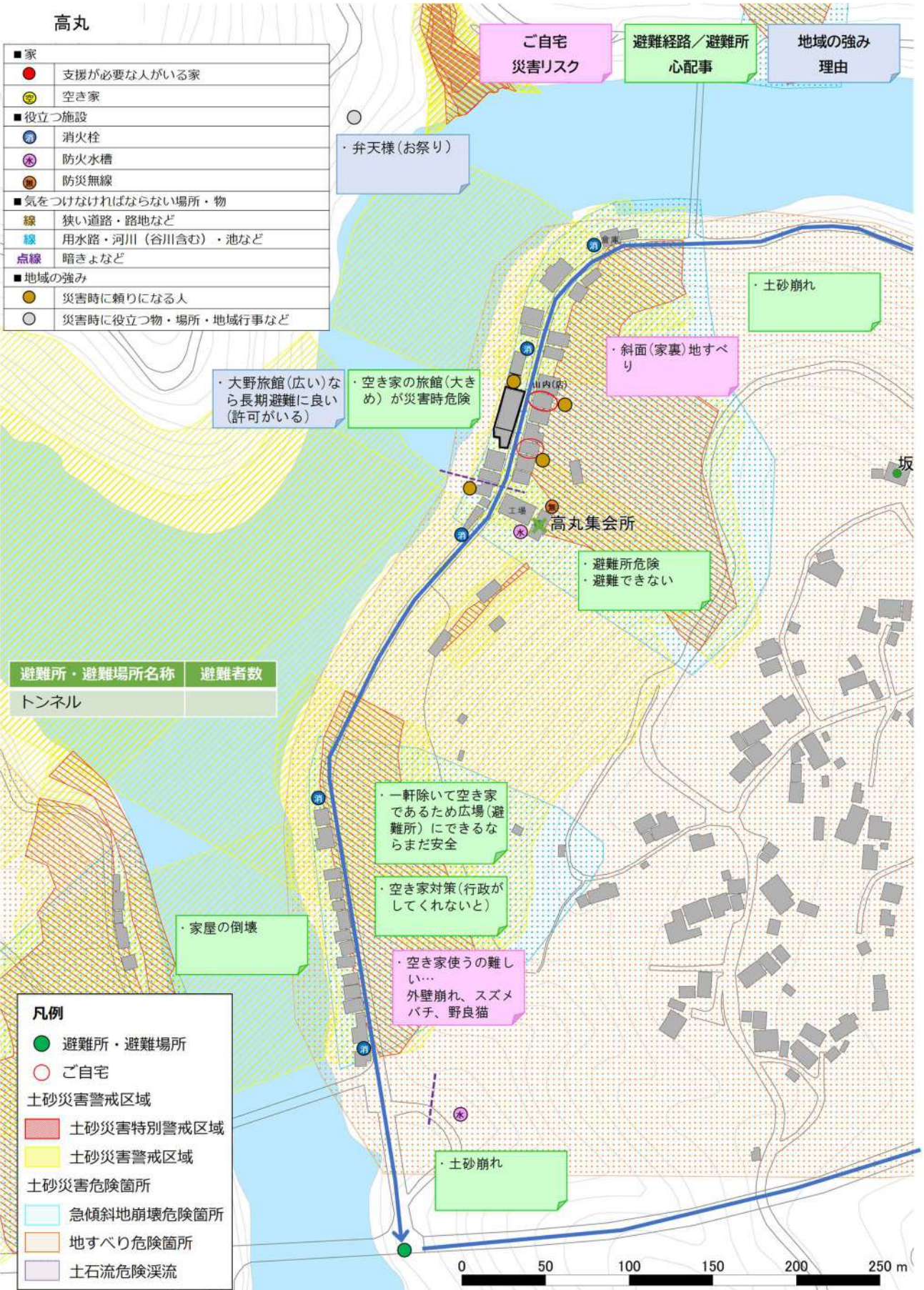
地すべり
山水を利用できる



■高丸地域

高丸

■家	
●	支援が必要な人がいる家
○	空き家
■役立つ施設	
●	消火柱
●	防火水槽
●	防災無線
■気をつけなければならない場所・物	
線	狭い道路・路地など
線	用水路・河川(谷川含む)・池など
点線	暗きよなど
■地域の強み	
●	災害時に頼りになる人
○	災害時に役立つ物・場所・地域行事など



ご自宅
災害リスク

避難経路/避難所
心配事

地域の強み
理由

弁天様(お祭り)

土砂崩れ

斜面(家裏)地すべり

大野旅館(広い)なら
長期避難に良い
(許可がある)

空き家の旅館(大きめ)
が災害時危険

避難所危険
避難できない

避難所・避難場所名称	避難者数
トンネル	

一軒除いて空き家
であるため広場(避難所)
にできるならまだ安全

空き家対策(行政が
してくれないと)

家屋の倒壊

空き家使うの難しい...
外壁崩れ、スズメバチ、野良猫

土砂崩れ

●	避難所・避難場所
○	ご自宅
土砂災害警戒区域	
■	土砂災害特別警戒区域
■	土砂災害警戒区域
土砂災害危険箇所	
■	急傾斜地崩壊危険箇所
■	地すべり危険箇所
■	土石流危険渓流



5. 私・地域が取り組む横林の防災まちづくり

横林地区で暮らし続けることが、防災に強いまちづくりを実現するものであるとの認識のもと、地域づくりWSで作成した「地域のがんばってみよう宣言」を以下に示します。

■奈良野・大成地域

横林地区の未来を描く「がんばってみよう（かな）宣言」	地域用
わたしたち <u>奈良野・大成</u> 地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、	
『 <u>奈良野区心 いつまでも続く まちづくり</u> 』	
をめざすことを宣言します。	
その実現に向け、地域のわたしたちは（日々の暮らしの中で）、	
○ <u>常会の参加を続けます</u> 。	
○ <u>コミュニケーションを積極的にとる</u> 。	
○ <u>防災意識を常に持ち続ける</u> 。	
といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。	
※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみんなで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。	
令和5年12月	

■堂野窪地域

横林地区の未来を描く「がんばってみよう（かな）宣言」 地域用

わたしたち 堂野窪 地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、

『 集落の存続、活性化と安心安全で明るい地域づくり 』
をめざすことを宣言します。

その実現に向け、地域のわたしたちは（日々の暮らしの中で）、

- 子どもも含めてみんなで、共同作業や行事へ積極的に参加します。
- あいさつ、会話、話し合いを大切にします。
- みんなで助け合える明るく楽しい仲間づくりを目指します。

といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。

※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみんなで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。

令和5年12月

■松尾地域

横林地区の未来を描く「がんばってみよう（かな）宣言」 地域用

わたしたち 松尾 地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、

『 明るく和気あいあいとした地域 』
をめざすことを宣言します。

その実現に向け、地域のわたしたちは（日々の暮らしの中で）、

- 地域の行事にみんなに参加する。
- 大きな声であいさつをする。
- お酒の力も借りましょう。

といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。

※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみんなで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。

令和5年12月

■河成・高丸地域

横林地区の未来を描く「 <u>カ高丸</u> みよう (かな) 宣言」	地域用
わたしたち <u>河成</u> は、横林地区の防災やまちづくりとして、	
『 <u>元気に安全に生活できる地域</u> 』	
をめざすことを宣言します。	
その実現に向け、地域のわたしたちは (日々の暮らしの中で)、	
○ <u>ご近所さんとコミュニケーションをとる</u> 。	
○ <u>困っている人を助ける</u> 。	
○ <u>1日1回心の底から笑う</u> 。	
といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。	
※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみなんで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。	
	令和5年12月

■大領地地域

横林地区の未来を描く「 <u>がんばってみよう</u> (かな) 宣言」	地域用
わたしたち <u>大領地</u> 地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、	
『 <u>大きな災害に備えて日頃より小さな危険を回避していく事</u> 』	
をめざすことを宣言します。	
その実現に向け、地域のわたしたちは (日々の暮らしの中で)、	
○ <u>水路の清掃を常に実施する</u> 。	
○ <u>危険場所の点検を常に確認できるようにする</u> 。	
○ <u>地域住民とのコミュニケーション取りに行く</u> 。	
といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。	
※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみなんで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。	
	令和5年12月

■長谷地域

横林地区の未来を描く「がんばってみよう（かな）宣言」 **地域用**

わたしたち 長谷 地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、

『 みんな元気で楽しく生活する 』

をめざすことを宣言します。

その実現に向け、地域のわたしたちは（日々の暮らしの中で）、

コミュニケーションをとる。

目配り気配り心配りをする。

挨拶をする。

といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。

※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみなんで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。

令和5年12月

■汗嵐地域

横林地区の未来を描く「がんばってみよう（かな）宣言」 **地域用**

わたしたち 汗嵐 地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、

『 (助けが来るまで) 自給自足 』

をめざすことを宣言します。

その実現に向け、地域のわたしたちは（日々の暮らしの中で）、

人口の現状維持(食糧も!)。

非常食(日持ちするもの)をいつもより多めに!。

ちょっとだけ火田で作るものを増す!。

といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。

※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみなんで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。

令和5年12月



■坂石地域


横林地区の未来を描く「がんばってみよう（かな）宣言」	地域用
わたしたち <u>坂石</u> 地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、	
『 <u>健康長寿100歳</u> 』	
をめざすことを宣言します。	
その実現に向け、地域のわたしたちは（日々の暮らしの中で）、	
○ <u>地域住民とのコミュニケーションをとる。</u>	。
○ <u>防災意識を高める！</u>	。
○ <u>健康づくり</u>	。
といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。	
※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみんなで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。	
	令和5年12月



■高丸地域

横林地区の未来を描く「がんばってみよう（かな）宣言」	地域用
わたしたち <u>高丸</u> 地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、	
『 <u>和を大切にする地域</u> 』	
をめざすことを宣言します。	
その実現に向け、地域のわたしたちは（日々の暮らしの中で）、	
○ <u>笑顔であいさつをする</u>	。
○ <u>地区内を見回わる</u>	。
○ <u>意見交換を活発にする</u>	。
といった取組を、できる範囲で、無理せずがんばっていきます。	
※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみんなで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。	
	令和5年12月


■中学生・高校生

横林地区の未来を描く「がんばってみよう (かな) 宣言」   **地域用**







わたしたち  地域 は、横林地区の防災やまちづくりとして、



『  あふれる横林地区の構築  』

をめざすことを宣言します。



Yokobayashi AISHITERU 

その実現に向け、地域のわたしたちは (日々の暮らしの中で)、

-  横林の **SNS** の拡散をします
-  地域行事への積極的な参加をします
-   地域住民ともっともっと  あいます 

  といった取組を、できる範囲で、無理せずにごんばっていきます。

※本宣言は、横林地域づくりWS参加者のみんなで、がんばるための努力目標を示したものであり、義務や責任が伴うものではありません。

  by Soso

令和5年12月

横林地区防災計画

～住民の命を守り、地域づくりや事前復興につなげる～

令和6年2月